

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【公表番号】特表2010-535903(P2010-535903A)

【公表日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-047

【出願番号】特願2010-520286(P2010-520286)

【国際特許分類】

C 0 9 B	57/00	(2006.01)
G 0 1 N	21/78	(2006.01)
G 0 1 N	33/66	(2006.01)
G 0 1 N	33/483	(2006.01)
C 0 7 D	295/22	(2006.01)
C 0 9 K	11/06	(2006.01)
C 0 7 C	311/29	(2006.01)
C 0 7 C	303/40	(2006.01)

【F I】

C 0 9 B	57/00	C S P Z
G 0 1 N	21/78	C
G 0 1 N	33/66	A
G 0 1 N	33/483	C
C 0 7 D	295/22	A
C 0 9 K	11/06	
C 0 7 C	311/29	
C 0 7 C	303/40	

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

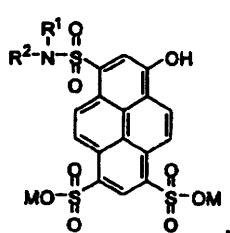
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

化合物：

【化1】



(式中、R¹及びR²は独立して、H、陰イオン基及び反応基から成る群から選択されるが、但し、R¹及びR²は、少なくとも1つの陰イオン基及び少なくとも1つの反応基を総じて含むものとし、Mは対イオンである)。

【請求項2】

前記陰イオン基がスルホン酸；及び／又は

前記反応基が、アクリロイル、メタクリロイル、アクリルアミド、メタクリルアミド及びスチリルから成る群から選択されるエチレン性不飽和重合性基；又は

前記反応基が、カルボン酸、アルデヒド、アルキン、アジド、活性化エステル、スクシンイミド及びニトロベンゾエートから成る群から選択されるカップリング基を含み、該カップリング基が化合物をポリマー又は支持体に結合させることを可能にする基；又は

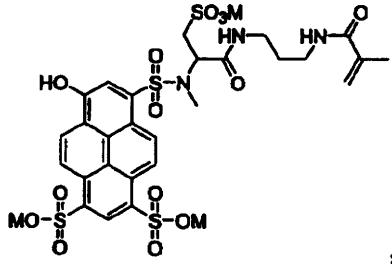
R¹及びR²が環状構造中で互いに結合する、

である、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

化合物：

【化2】



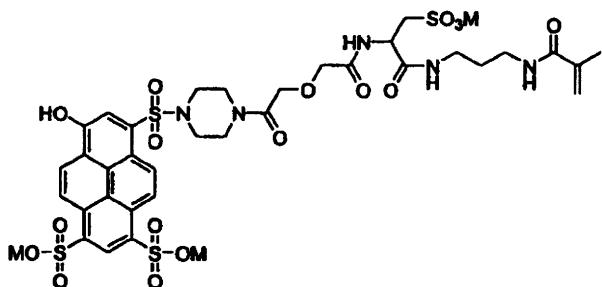
,

(式中、Mは対イオンである)。

【請求項4】

化合物：

【化3】

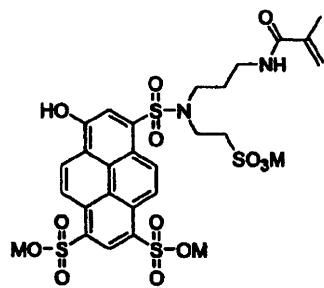


(式中、Mは対イオンである)。

【請求項5】

化合物：

【化4】

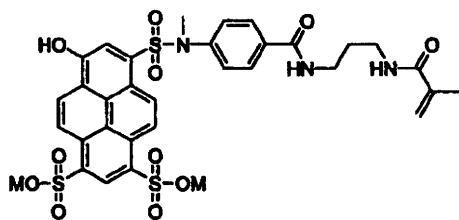


(式中、Mは対イオンである)。

【請求項6】

化合物：

【化5】

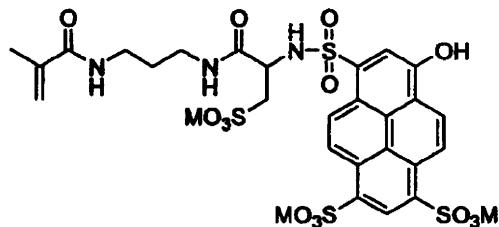


(式中、Mは対イオンである)。

【請求項7】

化合物：

【化6】

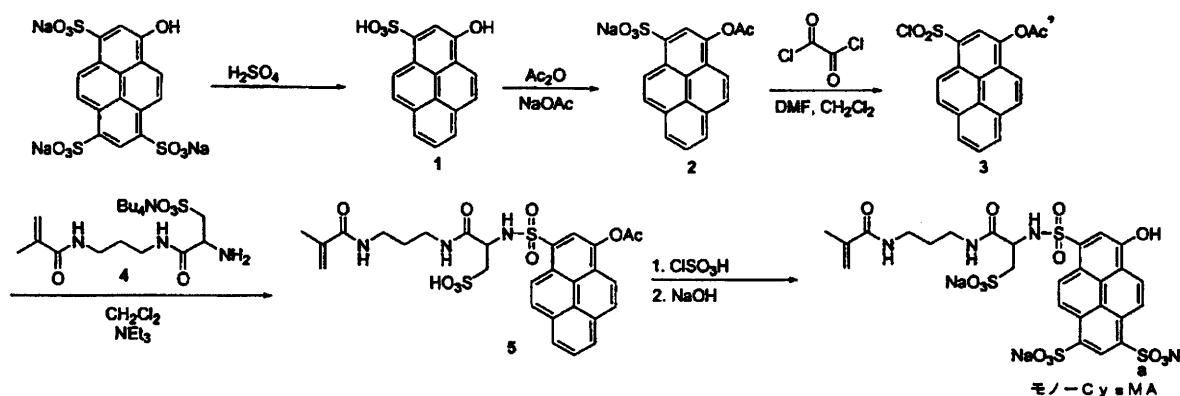


(式中、Mは対イオンである)。

【請求項8】

下記工程を含む、MがNaである請求項7に記載の化合物を製造する方法。

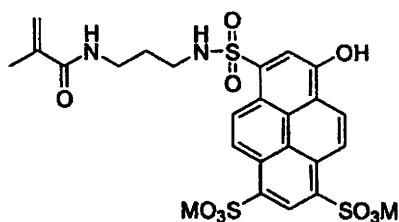
【化7】



【請求項9】

化合物：

【化8】

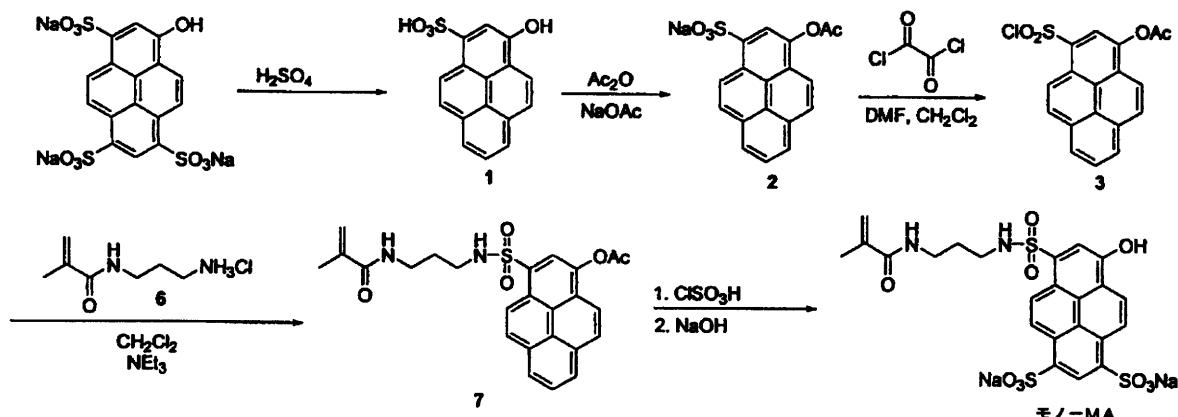


(式中、Mは対イオンである)。

【請求項10】

下記工程を含む、MがNaである請求項9に記載の化合物を製造する方法。

【化9】



【請求項11】

化合物：

【化10】



(式中、R¹及びR²は独立して、H、陰イオン基及び反応基から成る群から選択されるが、但し、R¹及びR²は、少なくとも1つの陰イオン基及び少なくとも1つの反応基を総じて含むものとし、Mは対イオンである)。

【請求項12】

前記陰イオン基がスルホン酸；及び／又は

前記反応基が、アクリロイル、メタクリロイル、アクリルアミド、メタクリルアミド及びスチリルから成る群から選択されるエチレン性不飽和重合性基；又は

前記反応基が、カルボン酸、アルデヒド、アルキン、アジド、活性化エステル、スクシンイミド及びニトロベンゾエートから成る群から選択されるカップリング基を含み、該カップリング基が化合物をポリマー又は支持体に結合させることを可能にする基；又は

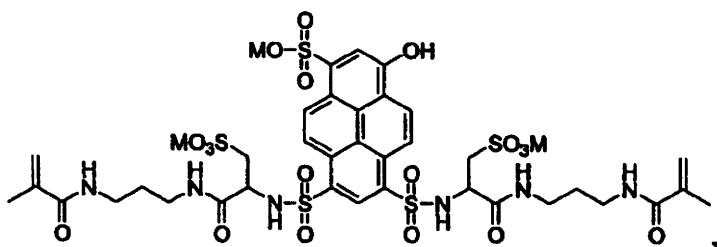
R¹及びR²が環状構造中で互いに結合する、

である、請求項11に記載の化合物。

【請求項13】

化合物：

【化11】

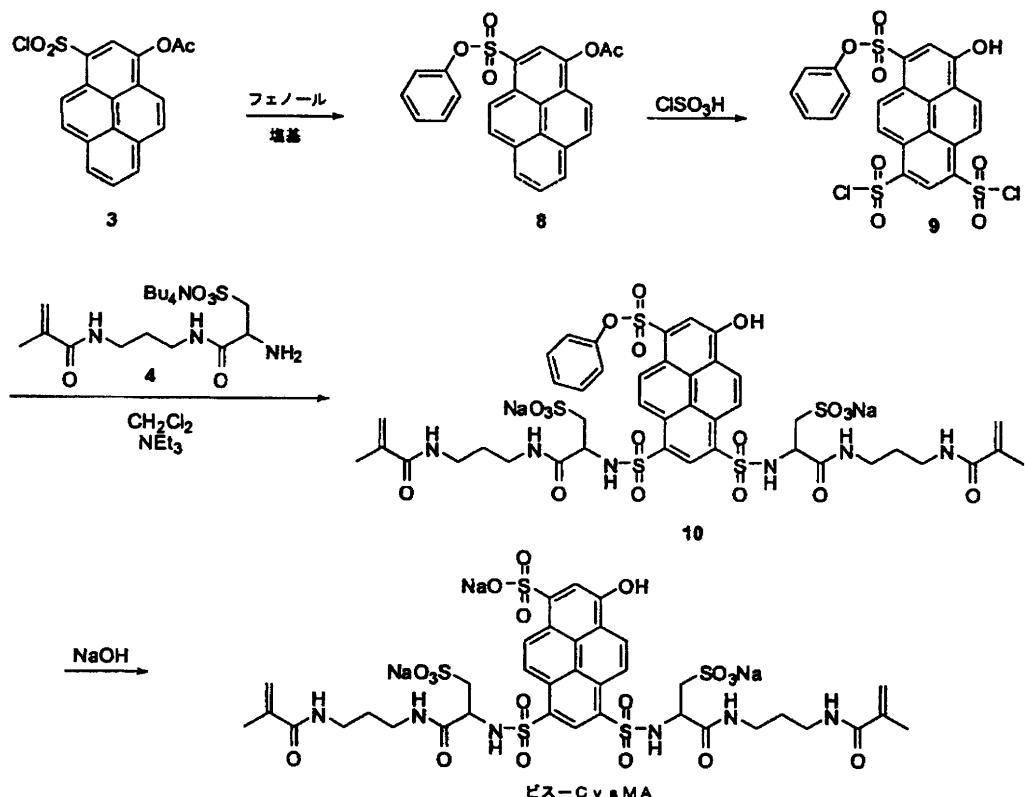


(式中、Mは対イオンである)。

【請求項14】

下記工程を含む、MがNaである請求項13に記載の化合物を製造する方法。

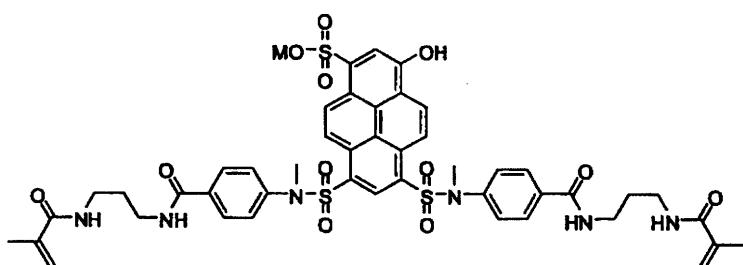
【化12】



【請求項15】

化合物：

【化13】

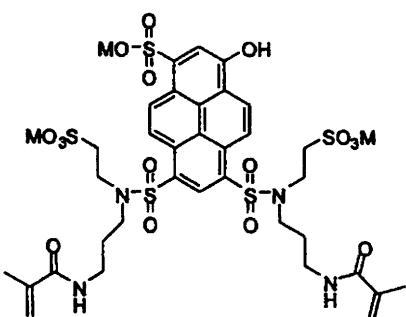


(式中、Mは対イオンである)。

【請求項16】

化合物：

【化14】

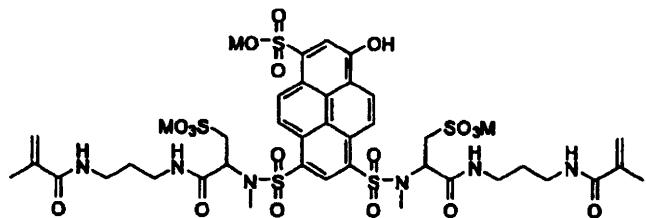


(式中、Mは対イオンである)。

【請求項17】

化合物：

【化15】

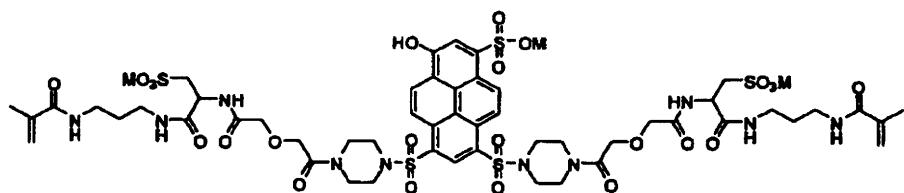


(式中、Mは対イオンである)。

【請求項18】

化合物：

【化16】



(式中、Mは対イオンである)。

【請求項19】

請求項1又は1_1に記載の化合物を含む、ヒドロゲル。

【請求項20】

請求項1又は1_1に記載の化合物を含む、グルコースセンサ。

【請求項21】

ボロン酸を含む消光剤部分をさらに含む、請求項2_0に記載のグルコースセンサ。